

大分県PTA



はぐく美

発行所

大分市大字下郡496-38
大分県教育会館2F
大分県PTA連合会
☎(097)556-9055

責任者
池部 英 明

印刷所
大分市下郡3154の22
九州凸版印刷株式会社



http://www.oita-pta.com/



令和2年度 教育問題懇談会

明日へ、ともに前進

県教委と県P連との教育問題懇談会が、令和2年11月6日(金)にアートホテル大分2階グランドホールで開催された。懇談会には、県教委から工藤利明県教育長他教育次長・関係各課から計19名、県P連から池部英明会長他副会長・理事ら計22名が出席した。新型コロナウイルス感染症が社会において混乱を招くなか、教育現場における対策や課題(11月時点の内容)について互いに理解を深めた。

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策における学校とPTAの対応について

2月末、国が全国一斉臨時休校を要請するという異例の事態のなか、県では県知事以下教育長・関係各部署が集まる対策本部を設け、速やかに県立学校の一斉臨時休校を決定した。また、市町村立学校や私立学校にも同様の措置を要請した。要請に強制力はなかったが、県内全ての市町村立学校においても一斉臨時休校がなされた。4月、国は全国一斉の臨時休校は求めないが、地域の感染状況に応じて保健部局と協議の上で、地域ごとに検討してほしいという段階に入った。新学期の対応として県教委では国のガイドラインに基づき、できる限り子どもの密集を防ぐため時差通学を実施した。



感染防止対策を講じながら行われた懇談会の様子

(2) 学校で感染者が発生した場合の対応について

県として情報公開に係る基本方針は、感染者等に対し不当な差別や偏見が生じることのないよう個人情報保護の観点から十分留意しながら、原則として年代・性別・国籍・移住地・職業を公表することになっている。学校においても県の方針に則り、校内で感染者が発生した事実のみを全生徒の保護者に速やかに連絡。感染者以外の生徒職員については保健所が感染経路を確定し、濃厚接触者とされた場合にはPCR検査を受けてもらい、必要な対応を取ってもらうことになる。感染拡大を防ぐためには不要な動揺は避け、保健所の指示による冷静かつ適切な対応が必要となる。

(3) 児童クラブの今後の対応について

「今後、小学校一校で感染者が出て学校が休校となった場合に児童クラブは開けるのか」の問いに対して県教委は、通常のインフルエンザの時とは異なることもあるが、感染症が流行って休校になった時に児童クラブを開けることがあり得るという見解を示した。県P連から「緊急時には学校を開放する等マニュアルを作成し、対応を十分協議して方針を出していただきたい」とお願いした。

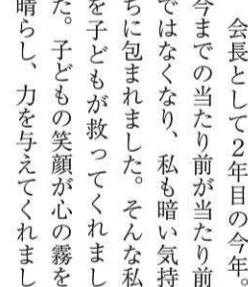
(4) コロナ禍における部活動等について

「市町村学校・私立学校・クラブチーム等、コロナ禍における活動状況が異なっていることについて」の問いに、私立学校・クラブチームはそれぞれの設置者の責任での対応となるため活動制限や時間に差異があったことは把握している。感染拡大防止を最優先に関係機関・団体と連携し意思統一を図っていききたいと見解を示した。

一年を振り返って



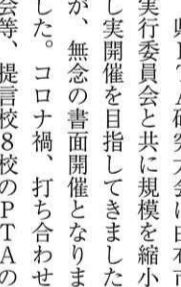
会長として2年目の今年。今までの当たり前が当たり前ではなく、私も暗い気持ちに包まれました。そんな私を子どもが救ってくれました。子どもの笑顔が心の霧を晴らし、力を与えてくれました。



皆様には素晴らしい提言を報告していただき、ただただ感謝申し上げます。次の玖珠郡大会がより良い開催となるよう引き続き協議してまいります。教育問題懇談会では、子どもたちの教育環境向上のため更なる情報の収集と発信を行って参ります。これからも子どもたちの「笑顔」のために力を合わせていきましょう。



本年度は研修部主催事業が全て中止となり、それに代わる代替事業を行う事となりました。県内全ての単位PTA会長を対象にアンケートを実施し現状の把握と分析を行いました。そこで集約した意見を県教委との教育懇談会で情報提供という形で述べさせていただきました。次に全単位PTA会長研修会中止に伴い各郡市の指導者研修会に参加し、今後の研修会の在り方や開催方法等を見直す機会になりました。本年度の経験を活かし令和3年度がより良い一年になればと思います。



今年度は異例事態の中、例年通りの活動ができず中止になった行事もありました。この事態に各郡市や単Pはどう対応しているのか、理事の皆様と会議で情報交換をしたり、

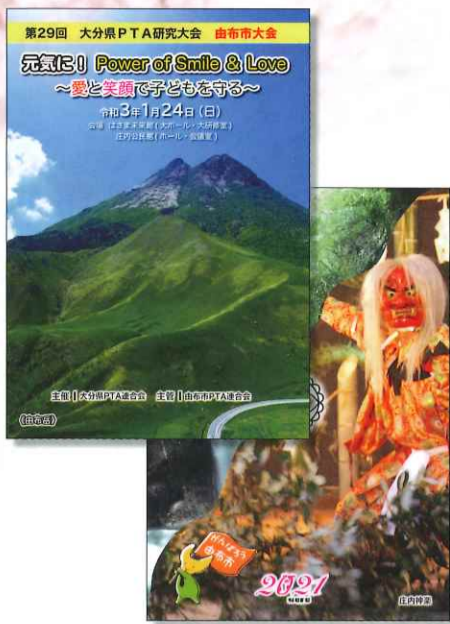


「相手の立場を考慮して行動する」この大切さはわかってはいるが、咄嗟に行動出来ない自分がある▼先日バスを待っていると「三日間誰とも話をしなかったのどうにかなりそう...」とちょっとだけお話を聞かせてと声をかけてくる同年代の女性。「え、いいわ」と二十分程話をした。さよならをしたが、日が経つにつれ自分の行動が気になり始める。あの時、もっとゆっくり話を聞く時間を何故作る事が出来なかったか。そうすれば彼女の淋しさも悩みも、もっと安らいだのではなかったのか。「少しでもお役に立てば」そんな安易な考え方をした自分が悔やまれてならない▼「申し訳ない」その思いが去らない時、出会った運転手さんの話。「あなたが乗車する前、お客さんを待っている、おばあさんが窓を叩く「トキハの開店を待っていたが気がついたら今日は店休日。長い間立っていたので疲れてしまった。何処か座れるところはないか」と言う。僕は「この車で休んでいけば」と声をかけ、近くのコンビニに走ってお茶を求め飲んでもらったところだと言おう▼運転手さんは「仕事、仕事の成績を上げたいのがあるが、困っているお年寄りを放つてはおけなかったのだと言おう▼」嬉しそうなおばあさんの姿をみて安心した。今、お年寄りは世間からは忘れられたような存在。自分から出来ることはこれしかない。と淡々と語る運転手さんに感動。仕事よりも今、自分のしなければならぬことは何か、自分から出来ることは何かを咄嗟に考え行動したその姿に心からの感謝をし、再会を約した。

小野 京子

研究大会 由布市大会

子どもを守る



由布市大会紀要

由布岳・由布川溪谷・庄内神楽など、豊かな自然と伝統文化を残す由布市

第29回大分県PTA研究大会由布市大会は、1月24日(日)に新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として書面開催となった。そのため今回は、由布市PTA連合会が発行した紀要より各校の取組を抜粋。分科会ごとにまとめた。同日、感染予防対策が十分に講じられた中、庄内公民館において引継ぎ式が行われた。

大会紀要を全単Pに配布し、県P連HPに開設している由布市大会のページで意見の集約を行った。

ごあいさつ



第29回大分県PTA研究大会
由布市大会
実行委員長 渡邊 明

今大会は「家庭・学校・地域を紡ぐPTA活動の推進」を研究主題として「元気に! Power of Smile & Love」をスローガンとして掲げました。現在、新型コロナウイルス感染症のため各学校のPTA活動は3密を避けた新しい生活様式の実施が必須となり、PTA活動の自粛・縮小や見直し等が求められています。子どもたちと会員の皆様の安全安心を第一に考え、何事も話し合いを重ねた結果、苦渋の決断ではありましたが今大会の書面開催を決定いたしました。開催にあたり、多大なご支援ご協力を賜りました皆様へ心から感謝申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



▶コロナ禍において実現に向け最後まで尽力した大会スタッフ

第1分科会 組織・運営

笑顔があふれる PTA組織

【討議題】

時代のニーズで、PTA活動を活性化させる新しい活動や取組

【提言者】

豊後高田市立呉崎小学校
PTA研修部長 桃坂 岳政

地区は海拔0メートルに畑地造成された干拓地。学校は児童数49名34世帯の小規模校。PTAの活動方針

組織は、代議員会15名以外のPTA全会員が3つの専門部いづれかに属す。今年度は感染拡大防止を目的に、会員には昨年度と同じ専門部に所属してもらい、引き継ぎの簡略化を図った。

【活動内容】

学校運営協議会制度により、PTAと学校、地域の方との協働が定着。干拓地特産の落花生やネギの栽培から収穫までを行う農業体験に、収穫後のネギ料理教室による食育体験を通して、子どもたちは地域で多くのふれあいができる。PTAでは、地域の方を指導者に親子盆踊り練習会を主催。郷土を愛する心を養い地域に生きる喜びや誇りに繋がればと、郷土の伝統文化「呉崎音頭」を守るため、歴史を調べ、踊りを継承している。

【成果と課題】

地域と連携し、呉崎の人・物・事を生かしたPTA活動

第2分科会 家庭教育

愛があふれ親も子も育つ家庭教育

【討議題】

学校運営協議会制度により、PTAと学校、地域の方との協働が定着。干拓地特産の落花生やネギの栽培から収穫までを行う農業体験に、収穫後のネギ料理教室による食育体験を通して、子どもたちは地域で多くのふれあいができる。PTAでは、地域の方を指導者に親子盆踊り練習会を主催。郷土を愛する心を養い地域に生きる喜びや誇りに繋がればと、郷土の伝統文化「呉崎音頭」を守るため、歴史を調べ、踊りを継承している。

【提言者】

大分市立明野中学校
PTA会長 吉山 智明

地区は戦後に開拓された丘陵地で、高度成長期に大分鶴崎臨海部企業の社宅団地として開発。学校は令和3年度に開校50周年を迎える中規模校。PTAの活動方針

スローガンは「今こそ相互扶助の精神で乗り切ろう!」。コロナ禍で薄れた学校・地域との繋がりを組織の力で維持。今必要なことを考え実行する。

【活動内容】

過去にPTAへ投げかけられた「問題発生時の実行力・体力の有無」。この課題を念頭に、子ども自らが達成体験できるように平成30年度に23kmナイトウォークを総務で企画。安全対策面への懸念から9月開催の準備段階で役員会の否決を受け中止となった。課題を痛感し翌年開催に向け再企画。組織の体力づくり、運営態勢の見直しから行った。校区にある3つの小学校PTA役員OBを中心に構成された地域団体「明野想成熟」と協同。学校・校区内小学校・親部・地区青少年協の後部支援を整え、開催可能となった。

【成果と課題】

台風やコロナ禍のため、2年続けて開催中止。この経験を元に今後は、昨年度始動した地区学校運営協議会制度を地域に根差す活用につなげたい。

手をつなぎ思いをつなぎ地域とともに親と子どもが育つ川西小PTA活動の在り方

【提言者】

由布市立川西小学校
PTA会長 麻生 裕昭

学校は湯布院盆地の西側、国道沿いに位置する。17名の児童は複式学級で学んでいる。PTAの活動方針

児童数減少により3年前に組織を再編。執行部が活動を支える。家庭での親と子、保護者同士、家庭と地域の「つながり」という3つの視点に基いた取組を進める。

【活動内容】

生徒数305人。別府市で最も歴史がある中学校。浜脇中との統合を控え、令和3年度からは別府西中学校となる。PTAの活動方針

【提言者】

別府市立山の手中学校
PTA会長 本田 顕子

自治会で実施される防災訓練への参加者が少なく固定化されていることから、PTAでは防災に対する意識の希薄化を懸念。学校と協力し子どもと保護者で「災害発生時の避難の約束事、身近な危険箇所や支援が必要な方の地図作成」に取り組んだ。その過程で双方が共通の認識をもって非常時に行動できるよう啓発。また親子防災学習日の講義や参加体験型学習での簡易ベッド等の製作体験を通じ、実践につなげる知識を学んだ。

PTA活動で得た様々な思いが親子の会話やふれあいを生み、学校教育の支援への輪となり、より深く関わっていきけるPTA活動を今後も目指していきたいと思っています。私は気付くと十数年役員をさせてもらっています。ただただ子どもたちの幸せを願って突き進んできました。子どもたちの笑顔を見るのが幸せになり、自分も心の底から自然と笑顔が出てきます。子どもたちの笑顔は絶やしてはいけません。

今までは違う世の中を生きていかなければいけない未来の宝の子どもたちを私たちがどのようにサポートしていくかが今後の課題となる事でしょう。

津久見市連合PTA
会長 高野 博文



PTA活動を通して

私には可愛い娘が二人います。長女が小学校2年生の時初めてPTA役員になりました。いきなり会長を引き受ける事になりました。右も左も分からないのに会長なんて...どうしたら良いのか混乱しましたが、いざやってみると楽しくなりました。PTAは子どもたちが通う学校にとっても必要で、保護者と先生、そして地域の方々と協力しあっている事が大切だと思えるようになりました。そうしていくうちに自分の言葉で娘を卒業させる事ができたらどんなに幸せか...との思いが強くなり6年生の時また会長になりました。次女も長女の時と同じで自分の言葉で...と思いましたが、残念な事に新型コロナウイルス感染症拡大の為、卒業式が短縮になり、その思いは叶いませんでした。本当に残念でした。

第29回 大分県PTA研究大会由布市大会分科会一覧

Table with 4 columns: 第1分科会 組織・運営, 第2分科会 家庭教育, 第3分科会 人権・環境教育, 第4分科会 広報・地域連携. Includes details on topics, speakers, and organizers.

第29回 大分県PTA 愛と笑顔で



引継ぎ式であいさつをする池部県P連会長

活動の歩みを進める

曾宮康生県P連副会長の開会宣言に続き、池部英明県P

連会長が「本年度、新型コロナウイルス感染症により私たちの生活は一変した。学校は臨時休校、多くのPTA活動は縮小、中止を余儀なくされ

た。この状況の中で、子どもたちが新しい時代を生き抜くために何が必要か、私たちPTAが考え行動することが求められる。県P連では、学校・地域と協働し、新しい生活様式を

バトンをつなぐ



大会旗は鄭由布市P連会長から相良玖珠郡P連会長へ引き継がれた

池部県P連会長が開催地の由布市P連へ感謝状を手渡しした後、鄭加代由布市P連会長が大会成功を祈念し、「玖珠郡大会大成功」と発声。出席者全員で一斉に拍手をした。

第3分科会 人権・環境教育

自他を大切に持続可能な愛あるPTA活動

【討議議題】〈学校、家庭、そして地域の支えの中で、今こそ結束、全員参加で和気あいあいのPTA

【提言者】竹田市立城原小学校 PTA会長 佐藤 進一郎

【活動内容】竹田市北部に位置し、周辺は豊かな自然や観光名所がある。ここ数年は児童数20人ほどで推移。PTA活動の参加率は高く、地域の方も意欲的にサポートする。

【成果と課題】地域ぐるみの体験と交流から、心豊かな子どもたちが育まれている。ネットに関しては保護者同士の情報共有とネットワークづくりが課題である。

【活動内容】郡部の小中一貫校という形を活かした理想的な教育環境を築き、収入を得るといふ社会のしくみを知る貴重な体験の場となっている。また平日に開催される行事(授業参観等)の一部を学校の協力を得て昨年度より日曜日に開催。父親の参加も増え幅広く活動を知ってもらう機会となった。

【成果と課題】コロナ禍で制限される活動は工夫次第で無限に広がる。運動会では母親部の発案で、学校に呼べない地域の方の応援メッセージを掲示することで子どもたちの力となるようにした。今後も笑顔育てる育友会活動を目指していく。

【提言者】竹田市立津江小学校 育友会 西山 公治

【活動内容】平成26年度に施設一体型小中一貫校として開校。小学部50人、中学部28人の小規模校。児童生徒の多くがスクールバスで登下校している。

【育友会の活動方針】今年度の活動目標は「地域と共に笑顔育てる育友会活動」。平成30年度よりコミュニケーションスクールが開始した。

【提言者】竹田市立八坂小学校 PTA会長 伊藤 裕一郎

【討議議題】地域と連携し子どもを見守るPTA活動、学校・PTA・地域の連携を通して

【提言者】竹田市立八坂小学校 PTA会長 伊藤 裕一郎

【活動内容】学校は、本年度で105周年を迎える中規模校。自然豊かな地域に位置し、校区内より、多くの古墳や遺跡が発見されている。

【成果と課題】(PTAの活動方針) 地域と連携して一緒に子どもを育てる環境づくり。

【活動内容】地域連携活動として、4年生を対象にPTA・学校・地

【提言者】由布市立谷小学校 PTA会長 佐藤 佑輔

【活動内容】これからの取組により不審者情報や事故件数が減少。活動を通して、保護者同士の心の融和も図られた。今後もこの活動を地域にどのように広めていくかが課題である。

【成果と課題】(PTAの活動方針) 地域住民がPTA行事に参加し、子どもと一緒に活動することで顔を合わせる機会が増えた。児童たちは、地域住民に対して進んであいさつができています。今後の課題は、

【提言者】由布市立庄内中学校 PTA会長 平松 誠

【活動内容】空き家の増加や高齢化に伴い、子どもたちが安心して登校できるように子ども連絡所の再構築が必要である。

【提言者】由布市立庄内中学校 PTA会長 平松 誠

【活動内容】この取組により不審者情報や事故件数が減少。活動を通して、保護者同士の心の融和も図られた。今後もこの活動を地域にどのように広めていくかが課題である。

【提言者】由布市立庄内中学校 PTA会長 平松 誠

【活動内容】空き家の増加や高齢化に伴い、子どもたちが安心して登校できるように子ども連絡所の再構築が必要である。

三行詩 大分県最優秀作品

— 最 優 秀 —

家庭で話そう！ 我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ

あの日の想い かたみにして

大分県PTA連合会は、令和2年度「三行詩」の大分県優秀作品を発表。応募総数303点の中から、部門ごとの最優秀作品3点を含む15点が優秀賞に輝いた。最優秀作品に選ばれた3作品に対し、県PTA連合会・副会長らが各学校へ赴き表彰状を手渡した。



【小学生の部】
日出町立豊岡小学校 3年 吉弘 颯翔
じしゅく中 母ちゃんのマッサージ ぼくたんどう
ぼくの昼ごはん 母ちゃんたんどう たまに母ちゃん
手ぬぎだから ぼくもまねして 手ぬぎする



【中学生の部】
竹田市立直入中学校 2年 姫野 桜子
朝練習 父と2人で ランニング
1人だったら くじけるけれど
2人だったら がんばれる



【一般の部】
宇佐市立駅館小学校PTA 森本 真樹
母の日のプレゼントを相談中の娘たち
よく聴こえるひそひそ話に にやけつつ
聴こえぬふりして夕飯作り

優 秀

三行詩は「たのしい子育て全国キャンペーン」を推進する日本PTAが主催し募集、表彰を行っている。県PTA連では優秀作品を選考し、この全国キャンペーンに推薦している。

※学校・学年は令和2年度。受賞作品については県PTA連HPでもご覧いただけます。

- 【小学生の部】
 - 吉弘来翔 / 日出町立豊岡小・6年
 - 森本和夢 / 宇佐市立駅館小・1年
 - 武石奈緒 / 大分市立田尻小・6年
 - 森本和愛 / 宇佐市立駅館小・3年
- 【中学生の部】
 - 板井彩音 / 大分市立上野ヶ丘中・3年
 - 間部実結 / 日出町立日出中・1年
 - 三浦愛香 / 豊後大野市立朝地中・1年
 - 佐伯晴哉 / 豊後大野市立千歳中・3年
- 【一般の部】
 - 荒木美紀 / 日田市立若宮小
 - 三重野裕子 / 大分市立長浜小
 - 中川美帆 / 豊後高田市立真玉小
 - 坂本清美 / 日田市立咸宜小



第65回 日本PTA九州ブロック研究大会

令和2年10月10・11日に開催を予定していた第65回日本PTA九州ブロック研究大会くまもと大会はコロナ禍のため中止。大会誌を発行した。大分県の提言校の内容の一部を紹介する。

第4分科会
人権教育「明るい社会」地域とともにある学校、東雲地域とともにある学校のためにPTAができること
佐伯市立東雲中学校 PTA会長 小林 剛
生徒数は20人。会員の減少に伴い、現在は執行部と2つの専門部で活動する。また地域・小中学校・市教委等で組織される「東雲中学校区学校運営協議会」が昨年度よりスタート。協働した取組を進めている。

者の危機感が薄いと感じ、例年、情報モラルについて行っている講演会を「人権」の視点から考える内容として開催。前半は保護者と生徒を対象に、後半は保護者対象としてより理解を深めるための講演会を行った。その中で課題は保護者の無関心との指摘を受け、講演会後のアンケートからは、ネットに関するルールづくりや子どもとの時間を大切にしようとする保護者の前向きな姿勢がみられた。今後も組織の現状を見据えながらアイデアを出し合い、子どもたちを支える活動に取り組んでいく。

第44回 大分県PTA 広報紙コンクール

◆応募対象◆
県下の小・中・特別支援学校PTAで年1回以上定期発行した広報紙(号外を除く)(令和2年4月~令和3年3月までに発行したすべての号を提出)

締切日 令和3年3月18日(木)
審査日 令和3年4月8日(木)
表彰式 令和3年4月22日(木)

「第44回大分県PTA広報紙コンクール出品についてのご案内」は各都市PTA連合会事務局を通し単位PTAに送付しています。

学生・子ども総合保険のご案内

令和3年度の「学生・子ども総合保険」の募集がはじまりました。補償内容を充実してご案内しています。パンフレットをよくご覧になり、コースを選択して加入期間中にご加入ください。

申込締切日 2021年3月31日(木)
中途加入締切日 2021年4月29日(木)

スマホによる手続きがはじまります
パンフレットに記載されているガイドにそってお手続きください。まずはスマホでお手続画面にアクセス!



スマホでこちらのQRコードからアクセスしてください。
※QRコードの読取りには、QRコードリーダーアプリのダウンロードが必要な場合があります。



〈保険にかかるお問合せ〉
受付時間：平日 9:00~17:00
(取扱幹事代理店)
MS九州株式会社 大分支店
☎ 097-538-8880

(取扱共同募集代理店)
はくく美保険サービス株式会社
大分市大字下 496-38 大分県教育会館2F
☎ 097-535-7051

〈事故にあわれた時のご連絡先〉
24時間365日事故受付サービス
「三井住友海上事故受付センター」
☎ 0120-258-189



ひとこと
望みとして



大分県PTA連合会ではPTAについて解説するリーフレットを作成。配布の予定です。

「PTAのすゝめ」 に変わりました

PTAのすゝめ
一、大人が「話そう」の姿勢で「子ども」に話そう
二、子どもが「話そう」の姿勢で「大人」に話そう
三、学校とともに関わる「保護者」の役割
四、地域と関わり、はくく美の活動
五、みんなが「話そう」の姿勢で「話そう」
六、PTA活動を「話そう」
大分県PTA連合会



プレゼント

朝の一刻には、やわらかさにあふれ、丸味をおびた小さな生命の集団に会える楽しみがある。三三五五、親に手をひかれ、チョコマカと、自分が主人公であるかの如く、気が取った仕草を見せつけるように歩き、出迎える先生の手の内に納まってしまふ。毎日、朝のこの光景に元気を貰う。信頼という糸が目には見えないが、ずっと張られ続けているように感じ、目が細む。「こころのステップ」と言うフレーズが、浮かんでいる。「心の成長」を測る目安は

「ほほえむ顔」がいつまでも、見たいからな。

人間関係の深まりの「度合」を「ものさし」として、定めたいものと言えるだろう。成長は、信頼関係の広まりと心の膨らみの正比例ではないかと感じさせられている。親と、先生と、友だちと。複雑な人間関係と心の成長を頼りに「心のせいちょう」。ひとりの人間の評価は、むしろかしいものである。それだけに、「唯唯諾諾」ただ、言われるままに行うことには、抵抗感を強く持たねばならない。

チョコマカさんとチョコマカくん、今、しっかりと遊んで、それも、出来るだけ、多くの人と顔をつきあわせて遊んでほしい。膨らんだりしぼんだり。今、大人たちは厳しい世の中を、自分をしっかりと見つめて、次の世代へのプレゼントを考えているよ。

「はくく美」では編集委員を募集しています。

詳細については左記事務局までお問い合わせください。

大分県PTA連合会事務局
☎(097)536-6055



編集後記

▼くじで始まった事。だけど極めると世界が広がる。つきつめるともっと好きになる。それが私のPTA体験。(O)
▼編集委員6年、研鑽を積み形にしたはくく美らしさ。先輩からのバトンの後輩へ。縁を結んだPTAに感謝。(T)
▼春は浮いたり沈んだり。進学、新しい人の転居、新しい出会い。編集に携わり3年。ご縁の不思議さ、しみじみ。(I)
▼尊敬する2人の先輩から編集のノウハウや取り組み背中を学んだ。出会いに感謝。協働した日々は私の宝物。(K)